

令和5年度 第2回会議の位置づけ

■各種作業と工程

	基礎調査 / 計画書作成	市民参加	会議での検討	
令和4年度	8月	・資料収集 統計データ等、みどりに関連するデータを収集・整理	・調査手法の検討・調整 既往調査の把握・整理と、調査対象や手法の検討	
	9月	・緑被調査 航空写真の判読による緑被分布の確認 ・公園緑地現況調査 法令等で定められているみどりの量や分布の確認	・調査票の検討 アンケート調査票案の検討	
	10月	・現行計画の検証 庁内担当部署による施策の実施状況の確認・評価作業	・WEBアンケート ・小中学生アンケート アンケートの調査票の作成	計画の諮問 第1回審議会 ● 審議会の役割・概要、みどりの基本計画についての認識の共有 ● アンケート案の検討
	11月	〃	・アンケートの回収集計	
	12月	〃		第2回審議会 ● 現況の共有、課題の整理 ● 改定に向けた視点について
	1月	・その他調査 計画の目標数値 (KPI) に関する検討・データ作成等	・アンケート結果のとりまとめ	
	2月	・基礎調査のとりまとめ データや市民意向等をもとにしたみどりの課題整理と、基本計画の見直しの方針の作成		第3回審議会 ● 課題の整理 ● 見直しの方針の検討
	3月	〃		
令和5年度	4月	・計画の検討 目標、方針、施策などの検討		
	5月			第1回審議会 ● 目標、方針、施策の方向性の検討
	6月			
	7月			
	8月			第2回審議会 ● 目標、方針、施策の検討
	9月			
	10月			
	11月	・素案の作成		第3回審議会 ● パブリックコメント案の検討
	12月		・パブリックコメント	
	1月			
2月			第4回審議会 ● 素案の検討	
3月	・計画策定		計画の答申	

現行計画の目次

目次	
序章. みどりの基本計画とは	2
序-1. みどりの基本計画とは	2
序-2. 西東京市における取組み	2
序-3. 西東京市におけるみどりの基本計画の位置づけ	2
序-4. 西東京市みどりの基本計画の目標年次	4
序-5. 西東京市みどりの基本計画の見直しについて	4
第1章. 都市のみどりをめぐる近年の動向	6
第2章. 西東京市のみどりに関わる現況と課題	10
2-1. みどりの体系	10
2-2. 西東京市のみどりに関する現況	11
2-3. みどりに関わる課題	18
第3章. みどりの将来像	22
3-1. みどりの将来像	22
3-2. みどりのまちづくりの目標	23
3-3. みどりの将来都市構造	24
3-4. 数値目標	27
第4章. みどりのまちづくりの方針	30
4-1. みどりのまちづくり方針の体系	31
4-2. みどりのまちづくりの基本的考え方	33
4-3. みどりの機能からみたまちづくり方針	34
4-4. みどりのまちづくりの施策の方向	40
第5章. 地域別のみどりのまちづくり方針	46
5-1. 地域区分	46
5-2. 地域別のみどりのまちづくり方針	48
第6章. 緑化重点地区と緑化重点スポット	70
第7章. 計画の実現に向けて	76
参考資料. 計画策定の経緯	80
用語解説	82

主に
R4年度会議
の内容

主に今回
会議の内容

主に今回
会議の内容

主に今回
会議の内容

主に今回
会議の内容

みどりのまちづくりの将来像を考える上での背景

1 西東京市の特徴的なみどりとは？

- 約 20 万人の市民が暮らしている本市の土台である自然環境に人々が関わってきたことで、屋敷林や雑木林、農地、公園などに表れる特徴的なみどりが存在している。

■今日の西東京市のみどりの土台

[まちの成り立ち]

- 水の豊かな旧保谷市域では畑作農業を中心としてまちが形成
- 水の乏しかった旧田無市域では街道沿いの田無宿を拠点とした近世村落を中心にまちが形成

[本市の地形]

- 武蔵野台地の中央部の台地部に位置する
- 台地内の豊かな地下水を水源とする白子川や石神井川に形成された谷地



出典：生きものから見た東京の自然－東京の環境指標種 100 (編集協力東京都環境局)

この土台のもと、暮らしの中で様々なみどりが育まれてきた

■暮らしと自然の関わりの中で育まれた西東京市のみどり

暮らしの中で生まれた①～④に示すような特徴的な多様なみどりが、ひとつひとつに愛され、大切に育まれている。

①武蔵野のひとびとの暮らしが生んだ原風景のみどり

“武蔵野の原風景”である屋敷林や雑木林と農地の景観が形成され、『下保谷四丁目特別緑地保全地区』をはじめ、現在も市内の各所に武蔵野の原風景となる緑地が残っている。



下保谷四丁目特別緑地保全地区 (市 HP)

②暮らしの軌跡を残すみどり

玉川上水沿いの『小金井サクラ』や社寺林など古くから愛される緑地や『下野谷遺跡』などのかつての暮らしを表す緑地空間が残されている。



下野谷遺跡 (市 HP)

③くらすための生業のみどり

市域の9%が農地であり、市内での貴重な緑地空間となっている。また、農業体験農園や市民農園として、市民が身近な生活の中でみどりに親しむことができる場ともなっている。



市内市民農園 (市 HP)

④くらしを豊かにする都市型のみどり

首都東京のベッドタウンとして『ひばりが丘団地』などの宅地開発、現在も進む駅周辺の開発に伴い、住環境をより豊かに、快適にするためのみどりが創出されている。



ひばりが丘団地 (UR都市機構 HP)

2 市民の「みどり」への期待と想い

- アンケート結果では、6割近い市民が「本市のみどりは多い」と感じており、子どもたちも8割以上が市のみどりの多さを感じており、西東京市の人々は、みどりに対する意識は強い。
- みどりへの期待として「防災」や「まちの魅力向上」につながる施策に対するところが大きく、公園の活用についてはさまざまなニーズがあり、過去のワークショップや昨年度実施したWEBアンケートでも多くのアイデアが挙がっている。

■まちのイメージ

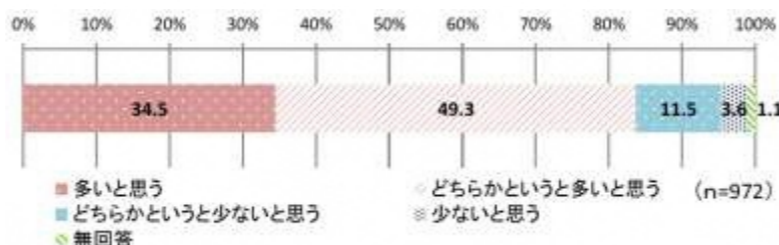
イメージ像	現在のまちのイメージ	
	回答割合	H29 調査比較
まちなかの自然(公園、農地等)が豊かである	58.0%	約4ポイント増加↑

■施策別の満足度・重要度

項目	CS分析
集中豪雨等のいっ水対策	A：重点改善
自然や観光資源などによるまちの魅力の向上	B：改善
公園・緑地などのみどりの保全・活用	C：重点維持
公園の整備や道路・公共施設の緑化推進	
農地・屋敷林などの保全・活用	D：維持
環境学習の場や機会の提供	
地産地消の促進などによる農業の振興	
ボランティアや市民活動団体の育成・支援活動への参加促進	

令和3年度 西東京市市民意識調査

■西東京市のみどりの量について



西東京市みどりに関する子どもアンケート調査報告書 (令和4年度)

■みどりの使い方に対する意見

○西東京市公園実態調査報告書(平成28年度)

公園の課題として、施設・環境の不足と利活用における制約などが挙げられている。解決のために市民参画の推進や民間企業による管理・活用のあり方などが提案されている。

○西東京市みどりに関するWEBアンケート調査報告書(令和4年度)

公園や農地、樹林など個別にみどりに対する意見や、人材や資金確保の仕組みなどに対する意見が寄せられている。

3 市政の動き

- 市政全体の大きな方向性として以下のようなものがある。

■健康まちづくり ('健康都市宣言'の発出)



■環境意識の高まり('ゼロカーボンシティ'宣言の発出)



■歴史文化や地域資源を大切にすまちづくり



西東京市文化財保存・活用計画

■身近な貴重なみどりの保全



下保谷四丁目特別緑地保全地区保全活用計画

西東京市農業振興計画

4 社会情勢の動き

- みどりを取り巻く社会全体の大きな方向性として以下のようなものがある。

■防災・減災に向けた社会基盤構築

- 流域治水... 集水域(雨水が河川に流入する地域)から氾濫域(河川等の氾濫により浸水が想定される地域)にわたる流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考え方
- グリーンインフラ... 自然環境が有する機能を都市基盤の整備に活用する取組の推進

■豊かなオープンスペースの創出

- まちなかウォークブル... 「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指し、市町村や民間事業者等による取組や、産学官等の多様な主体が連携する取組を推進
- 公園の規制緩和... P-PFI制度、公園協議会制度創設等、民間活力による整備・管理・活用の仕組みが整備
- ユニバーサルな空間づくり... 都市公園の移動等円滑化整備ガイドラインの改訂(改正バリアフリー法への対応)や、インクルーシブ公園の整備

■持続可能なまちづくり

- SDGs... 2030年に向けた17の持続可能な開発目標(SDGs)が国際的に合意。
- デジタル化社会... デジタル技術を活用し、行政手続等の利便性の向上や行政運営の簡素化・効率化を図る取組が推進
- ウェル・ビーイング... 「ウェル・ビーイング」とは、個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念。人口減少が進む一方で、技術革新が著しいなかで、暮らしの質と満足度を高めていくための社会のあり方を模索

みどりのまちづくりの将来像

みどりのまちづくりの将来像 3案

案1

武蔵野の歴史をつなぎ みどりとひとが共に豊かに生きるまち 西東京

将来像に込める思い

- ✓ 過去から継承してきた大切なものを軸に、未来に向けて、より豊かにまちを発展させていく
- ✓ 社会課題が複雑化し、多様性が求められる社会の中で、さまざまなみどりとひとの共生のあり方をつくっていく

案2

みどりとひとの絆が育む 健康で美しいまち 西東京

将来像に込める思い

- ✓ 生きるために同じ一つのまちの中で、みどりとひとが互いに支え合い、美しいまちを形成してきた歴史と背景
- ✓ 社会課題が複雑化し、さまざまなまちの変化があるなかで、暮らしに必要不可欠であるみどりとの共生により、市政が目指す健康で強靱な社会をつくっていく

案3

持続可能な未来へ みどりとひとの輪でつくる 西東京

将来像に込める思い

- ✓ 未来志向で考えたときに、将来世代（子ども）とみどりとともに育て、力強く生きられるようにしていく必要がある
- ✓ 子どもがまちづくりの『ど真ん中』にあり、みどりの基盤とひとの輪の結びつきを深めながら、SDGsの理念に基づき、持続的なみどりのまちづくりを進めていく

※ 「太字下線部」は、H28ヒアリング調査、R3市民意識調査、R4子どもワークショップ、緑化審議会等の意見を参考に採用したフレーズ

— 将来像が想定する具体的な絵すがた —

みどりへの関わり方 5つの方策



まもる



整える



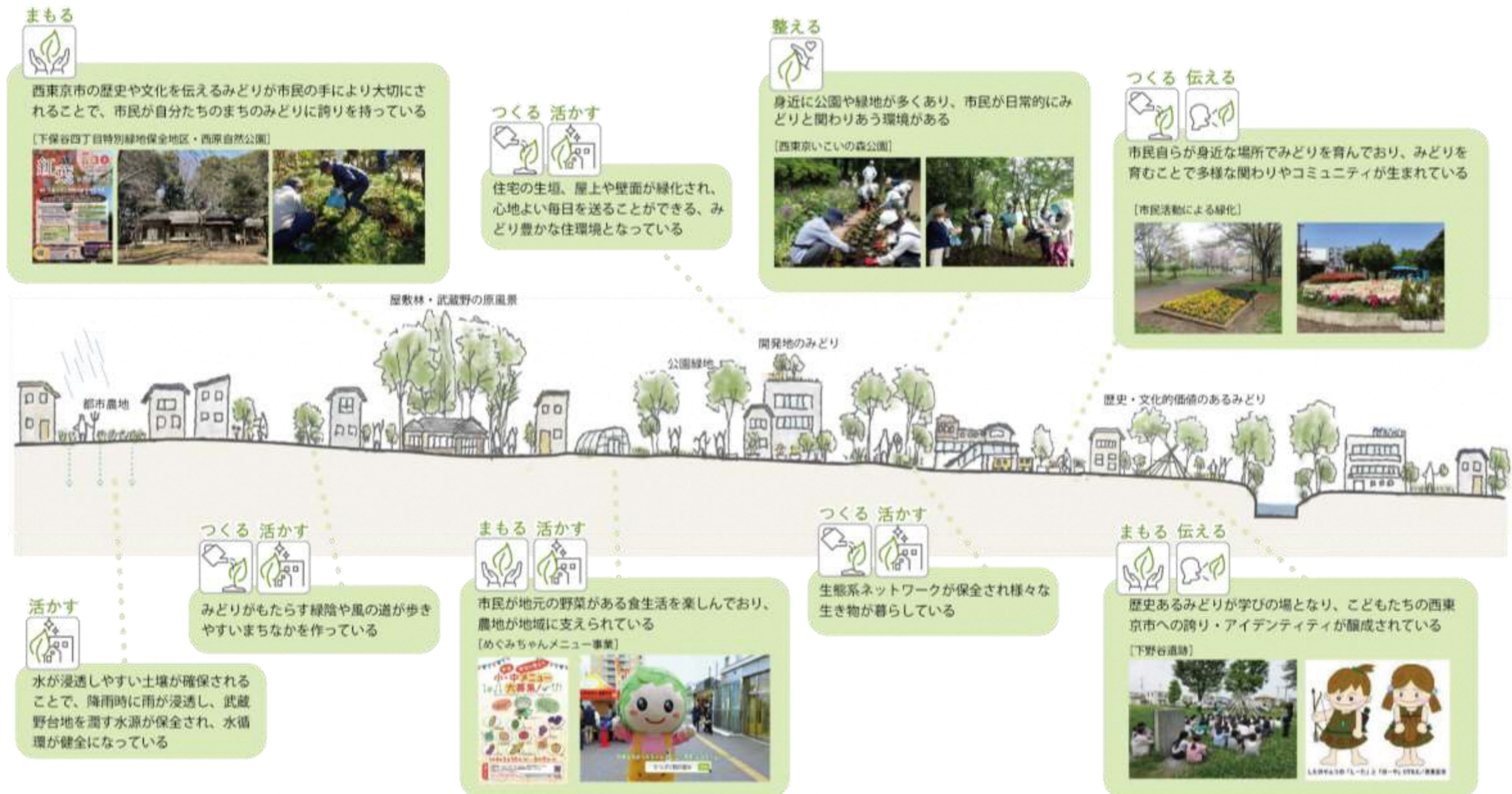
つくる



活かす



伝える



みどりのまちづくりの基本方針

みどりの将来像の実現に向けて施策を進めるにあたって、「**みどりとひとがくらしを共に支えあうことにより、豊かなみどりが育まれる好循環**」が求められています。

すなわち、

- 1 西東京市の特徴あるみどりが保全・創出され、魅力あるみどりが豊かに育まれている
- 2 多くのひとが関わるようになっている
- 3 ひとびとがまちなかでみどりに触れる機会が増え、生活や心身が豊かになっている
- 4 みどりが多くのひとの手で、地域や社会課題の解決のために活かされることで、くらしの舞台となるまち全体も健康になり、西東京市の特徴あるみどりがさらに磨かれる

という4つのステージにおいて、施策がきちんと推進されることで、好循環が生まれていきます。これらの4つのステージを〈基本方針〉として位置づけ、施策を進めていきます。

この基本方針を踏まえつつ、みどりのまちづくりにおける施策を「**まもる・整える・つくる・活かす・伝える**」の5つの柱で整理し、**各主体の役割分担や目標期間を設定し、みどりのまちづくりを進めていきます。**

また、4つのステージにおいてはみどりが多面的に機能している状態を目指すことから、配置方針や目標指標については、機能や活動といった視点で設定します。

みどりとひとがくらしを共に支えあうことにより、豊かなみどりが育まれる好循環のイメージ



- 基本方針Ⅰ** 西東京市の特徴あるみどりを育む
… 屋敷林・雑木林、都市農地、文化財等、武蔵野の原風景を形づくる、市の特徴あるみどりの保全や、魅力ある公園・緑地・街路樹など都市のみどりの育成に向けて、取り組みます。
- 基本方針Ⅱ** みどりを支えたいと思うひとを増やし、ひとの輪を広げる
… みどりの大切さを共有し、みどりのまちづくりを支える人の輪の拡大に向けて、普及啓発や人材育成に取り組みます。
- 基本方針Ⅲ** 市民とみどりをつなげ、ひとびとの心身を豊かにさせる
… まちの中でみどりとひとが関わるシーンを増やし、市民の心と体が癒され、暮らしを豊かにしていくために、みどりの創出や活用に取り組みます。
- 基本方針Ⅳ** まちづくりの様々な分野でみどりを活かし、健康なまちにする
… さまざまなひとが、さまざまな目的でみどりを舞台に活動し、**みどりが多面的に機能することで、まちの基盤が構成**されていくように、みどりのまちづくりに取り組みます。

みどりの配置方針

みどりのまちづくりの方向性に向けて施策に取り組んでいく前提として、みどりの機能別に配置方針を据える。
※みどりの機能別の分類

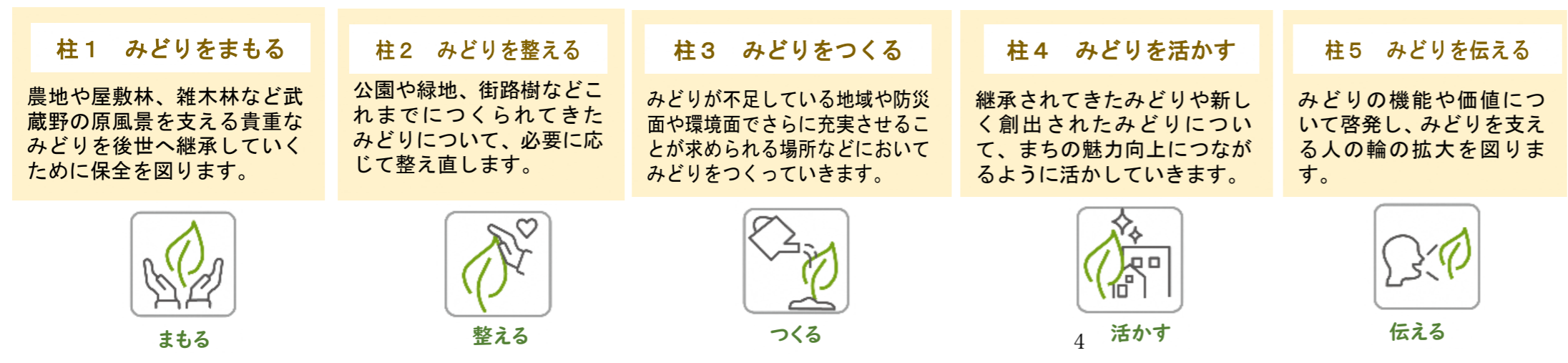


目標指標の例

将来像に向けた達成状況及び施策全体の成果を測るに資する数値的な目標指標を以下のように設定する。

- 基本方針Ⅰに対応する指標**
・保存樹木・樹木の登録件数、農地面積、民間活力の活用により管理する公園の箇所数など【担当課所有データ】
- 基本方針Ⅱに対応する指標**
・みどりのまちづくりにおける市民の活動量（例：公園管理協力会員等のボランティアの総人数）【担当課所有データ】
- 基本方針Ⅲに対応する指標**
・市民がみどりに親しむレクリエーションの場となるオープンスペースの面積【各種データベース】
- 基本方針Ⅳに対応する指標**
・防災や環境面でみどりの整備を優先すべきエリア（洪水浸水想定区域、浸水予想区域）における緑被率・みどり率【緑被率調査】
・とくにみどりが必要とされる保育施設周辺等における身近な公園の空白地区の解消（空白地区の割合0%）【GIS計測】

施策の柱に沿って取組を整理し、各主体の役割分担や目標期間を設定しながら事業を進行



みどりのまちづくりの施策体系（案）



将来像

みどりの将来都市像

基本方針

- I 西東京市の特徴あるみどりを育む
- II みどりを支えたいと思うひとを増やし、ひとの輪を広げる
- III 市民とみどりをつなげ、ひとびとの心身を豊かにさせる
- IV まちづくりの様々な分野でみどりを活かし、健康なまちにする

配置方針

- 防災・減災のみどり
- 環境のみどり
- 景観・歴史文化のみどり
- 生活（健康/レクリエーション/ウォークアブル）のみどり

目標指標の例

- ◆ 保存樹木・樹木の登録件数、農地面積、民間活力の活用により管理する公園の箇所数など
- ◆ みどりのまちづくりにおける市民の活動量
- ◆ レクリエーションの場となるオープンスペースの面積
- ◆ 防災や環境面でみどりの整備を優先すべきエリアにおける緑被率・みどり率
- ◆ 保育施設周辺における身近な公園の空白地区の解消（空白地区の割合0%）等

適正な量と質を備えたみどりの形成に向けた、持続的なみどりのまちづくりのマネジメント

- I. 西東京市の特徴あるみどりを育む**
 - 風土や歴史など地域の成り立ちを踏まえた特徴あるみどりの継承と活用
 - 生物多様性の確保・保全
 - 民有地のみどりを減らさない、増やすための支援
 - 管理不足が今後懸念されるみどりへのアプローチ
- II. みどりを支えたいと思うひとを増やし、ひとの輪を広げる**
 - みどりの価値の評価分析と発信、啓発
 - 市民が自分事として関心を持つためのきっかけ作り
 - 既存の担い手の支援、新たな担い手の発掘
 - 行政・市民・地域・企業の連携の拡充
- III. 市民とみどりをつなげ、ひとびとの心身を豊かにさせる**
 - 有機的なみどりのネットワーク構築
 - 公共地のみどりを引き続き、整備・管理
 - 公園的機能を有するオープンスペースの活用
 - 都市農業の地産地消の取組推進
 - 公園利用のルール緩和や、市民農園の拡充などによる、健康活動機会の創出
- IV. まちづくりの様々な分野でみどりを活かし、健康なまちにする**
 - みどりの多面的機能の発揮
 - 活用しやすいみどりの創出・誘導
 - 社会・地域課題の解決やまちの魅力アップにつながるみどりの活用
 - みどりを活用しやすい仕組みの構築

施策の柱1
みどりを
まもる

- 屋敷林・雑木林・文化財等、市の特徴あるみどりの保全
 - 都市農地の保全
 - 生態系の保全・再生
 - 市民協働による公園緑地の維持管理
- 施策の詳細は別紙参照

施策の柱2
みどりを
整える

- 老朽化した公園緑地の再整備
 - 街路樹・植栽の再生
- 施策の詳細は別紙参照

施策の柱3
みどりを
つくる

- みどりのネットワークの形成
 - 公共施設におけるみどりの創出
 - 民有地におけるみどりの創出
 - 防災力を高めるためのみどりの創出
 - 環境や生態系等に配慮したみどりの創出
- 施策の詳細は別紙参照

施策の柱4
みどりを
活かす

- 公有地のみどりの多面的機能の活用推進
 - 民有地のみどりの活用促進
 - 健康づくり・レクリエーションとしてのみどりの活用
 - みどりを活かした循環型社会の構築
- 施策の詳細は別紙参照

施策の柱5
みどりを
伝える

- みどりのまちづくりの活動の啓発
 - みどりのまちづくりを進める制度の周知
- 施策の詳細は別紙参照

次の10年間で重点的に取り組むべき施策

実現化方策

■ **協働体制の構築**

- ◇ 行政間の連携（国・都・市）
- ◇ 行政内の連携（部署横断連携）
- ◇ 産官学民の連携（市民・事業者・市・大学）
- ◇ 民民の連携（事業者・市民・団体）

■ **財源の確保**

- ◇ 民間との連携による効率的な事業の運営
- ◇ みどりの基金やクラウドファンディング、ネーミングライツ、国・都の補助金等、多様な財源調達
- ◇ デジタル技術の活用による効率的な施策の実施

■ **計画の管理**

- ◇ 計画進行における役割分担の明確化
- ◇ 計画の進捗の評価体制の構築
- ◇ 必要に応じた計画の見直し、再検討のプロセスの位置づけ

みどりの配置方針 ①

A 防災・減災のみどりの配置の考え方

■水害対策のみどりの配置

○市内のみならず、下流域の市町での内水氾濫・外水氾濫に対する防災・減災（流域治水）の視点から、下記の対策を実施する。

- ✓ 台地面では雨水浸透・雨水一時貯留を助けるみどりの保全・創出を図る。
- ✓ 河川または暗渠沿いの谷底低地では、溢水・浸水を受け止めるためのみどりを保全・創出する。
特に浸水リスクの高い洪水浸水想定区域などのみどりの保全・創出に重点を置く。
- ✓ 水の集まりやすい場所や道路冠水しやすい場所周辺には、雨水の一時貯留を助けるみどりを配置する。

■火災対策のみどりの配置

○街路樹ネットワークの構築、また、住宅地での緑化を進めることで、延焼防止帯としてのみどりを配置する。

■災害全般に対応するみどりの配置

○災害時の一時避難場所となるオープンスペースとして、学校用地や都市公園のみどりを確保する。



[ベース図 凡例]

- 裸地・人口被覆面
- 原野・草地
- 樹林
- 市周辺の大きな緑地
- 河川
- 暗渠
- 水面・水路
- 農用地
- 道路
- 鉄道

[配置方針図（防災・減災）凡例]

- 雨水浸透を助けるみどりの創出・配置
- 雨水一時貯留を助けるみどりの創出・配置
- 街路樹ネットワークの構築（整備済み）
- 街路樹ネットワークの構築（未整備）
- 延焼防止帯・一時避難場所としてのみどりの保全・創出
- 避難所等機能を有するみどり
- 防災上、多面的機能を発揮する農地の保全

B 環境のみどりの配置の考え方

■生態系保全のみどりの配置

○流域ごとにみどりの環境は異なることから、生態系の保全のために、河川（暗渠）の流域ごとにみどりの質や連続性を確保する。

○市内のまとまったみどりを保全し、それらをつなぐような中継ぎのみどりを創出する。

■水循環を健全にするみどりの配置

○本市が位置する台地面は武蔵野台地内の湧水の集水域であることから、台地では雨水浸透能の高いみどりを優先的に保全、配置する。

■温暖化をみすえたみどりの配置

○ヒートアイランド対策として、樹冠投影やみどりの育つ土壌による遮熱効果や微気候調節の機能を考慮し、市内のまとまったみどりを保全する。



[ベース図 凡例]

- 裸地・人口被覆面
- 原野・草地
- 樹林
- 市周辺の大きな緑地
- 河川
- 暗渠
- 水面・水路
- 農用地
- 道路
- 鉄道

[配置方針図（環境）凡例]

- 流域のまとまり
- 生態系ネットワークの中心軸（街路樹のつながり）※整備済み
- 生態系ネットワークの中心軸（街路樹のつながり）※未整備
- 生態系ネットワークの副軸（街路樹のつながりを補完）
- 生態系ネットワークの中心拠点（自然林・自然林の多いみどり）
- 生態系ネットワークの副拠点（農地・公園・緑の多い住宅地）

みどりの配置方針 ②

C 景観/歴史・文化のみどりの配置の考え方

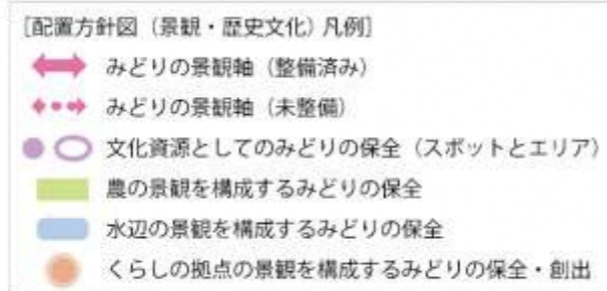
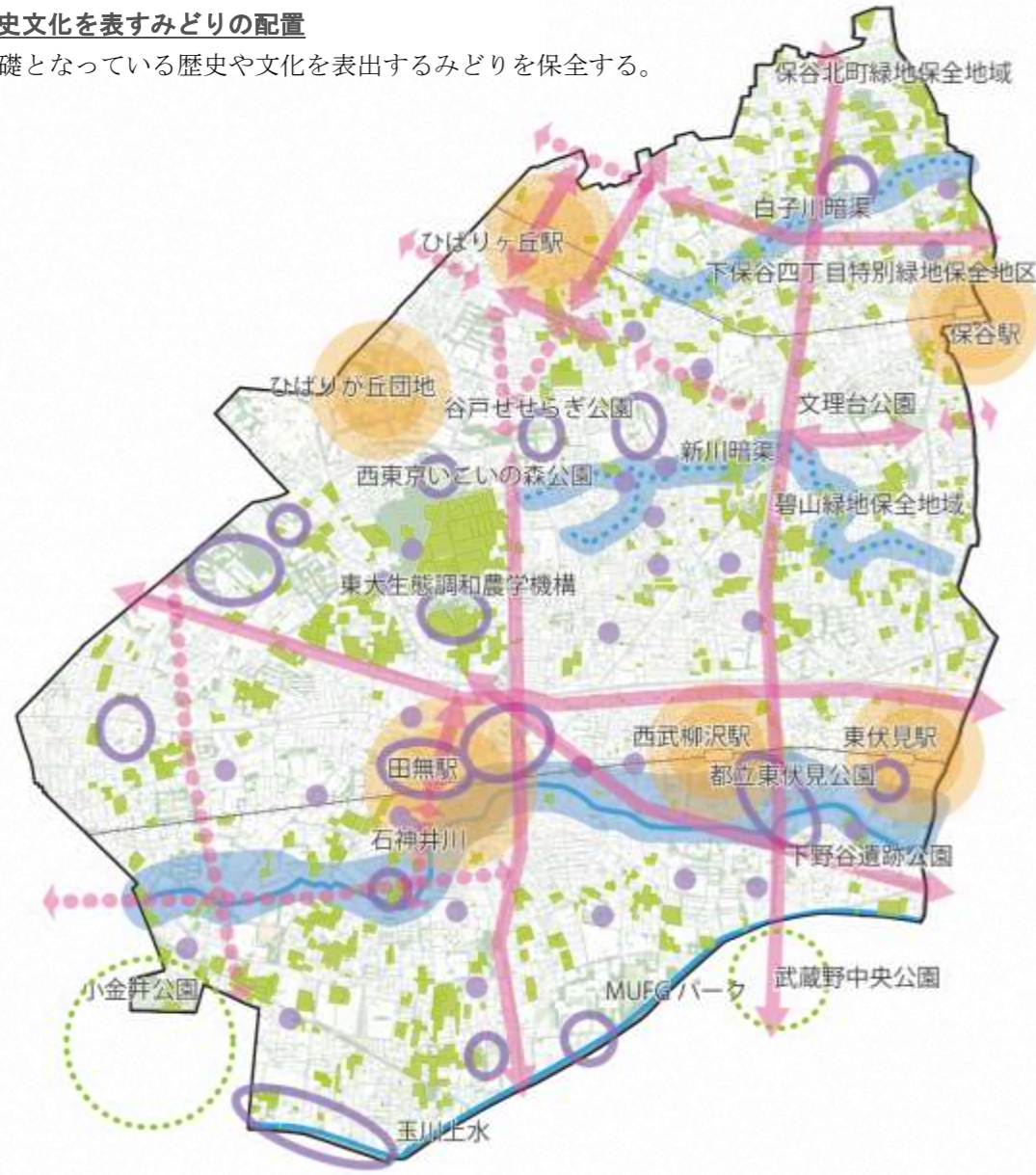
■西東京市の特徴ある景観を構成するみどりの配置

○市内に残る武蔵野の原風景の景観、農の景観をつくりだすみどりを保全し、それらの特徴あるみどり引き立つように、周辺のみどりとのつながりを保全・創出する。

○みどりの少ない地域において、西東京市の特徴的なみどりとのつながりに配慮し、景観の向上に資するみどりを創出する。

■市民の誇りとなる歴史文化を表すみどりの配置

○現在の西東京市の礎となっている歴史や文化を表出するみどりを保全する。



D 生活(健康/レクリエーション/ウォーカブル)のみどりの配置の考え方

■市民の憩いの場のみどりの配置

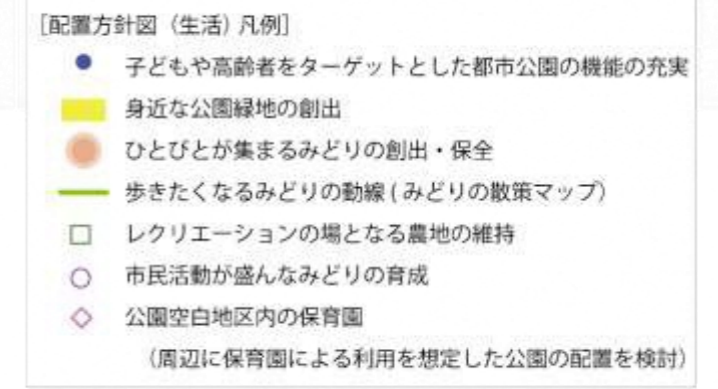
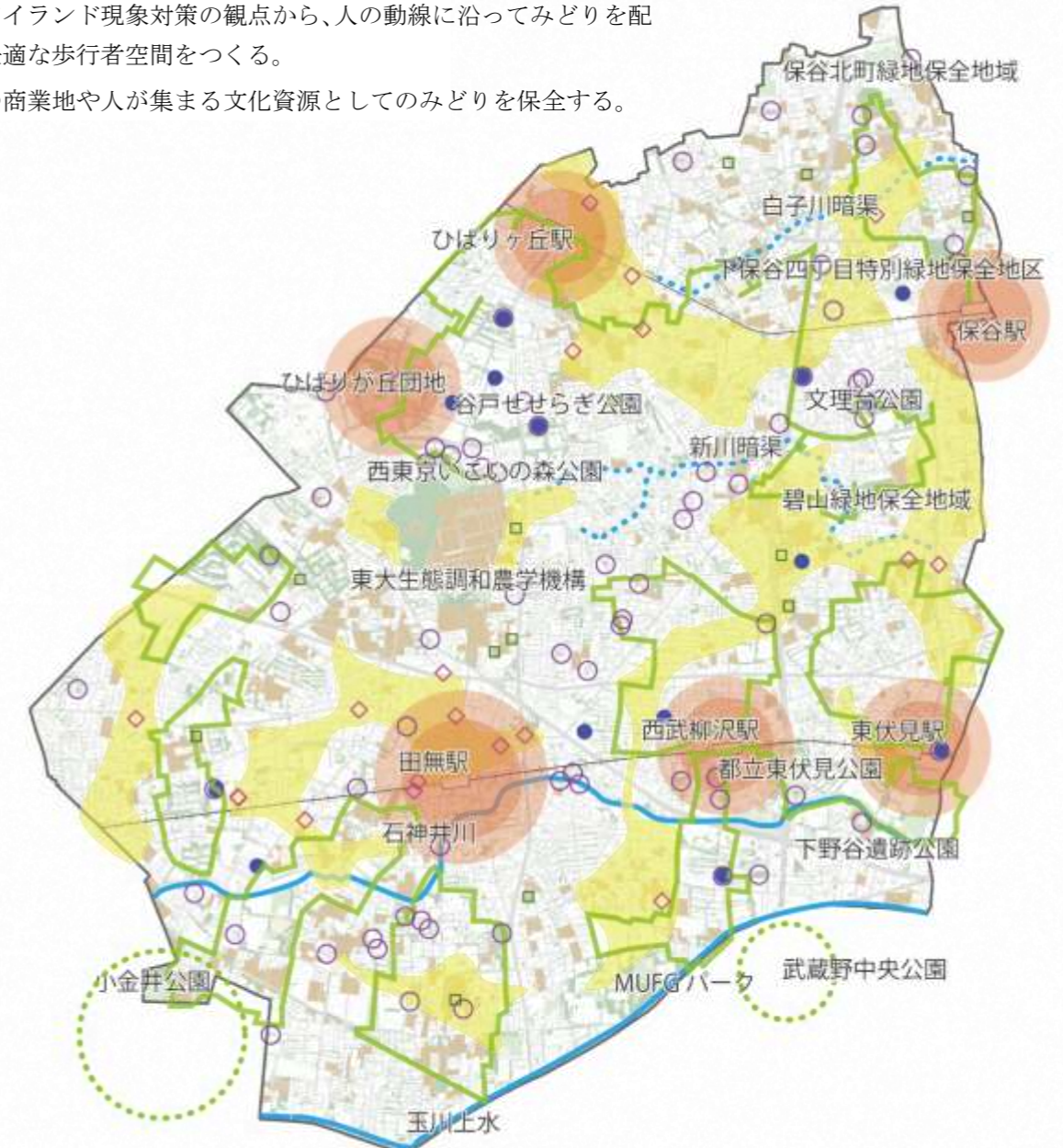
○市民が日頃から大切にしている緑地の磨きあげ、充実を図る。

○子どもたちをはじめ市民が外に出て、みどりに気軽に関わることができる機会を作るため、生活圏にみどりを配置する。公園空白地区にある保育園周辺には、保育園による利用を想定した公園の配置を検討する。

■歩きたくなるみどりの配置

○ヒートアイランド現象対策の観点から、人の動線に沿ってみどりを配置し、快適な歩行者空間をつくる。

○駅周辺の商業地や人が集まる文化資源としてのみどりを保全する。



地域区分について

地域区分…より即地的・具体的なみどりのまちづくり方針を示す場合に設定する。設定にあたっては以下の視点を考慮する。

- (1) 行政からみた計画の使いやすさ … 関連計画と整合させることで横断的な事業推進がしやすく、行政にとって扱いやすい地域区分となる。
- (2) 市民からみたわかりやすさ … 市民にとって身近なコミュニティ単位の区分と合わせることで、市民にとってわかりやすい地域区分となる。
- (3) みどり環境に配慮した政策実現 … 地形・水系・植生などを考慮した区分とすることで、みどりの環境にとって自然な地域区分となる。

候補案

現行計画を踏襲 (10 区分)



改定中の都市計画マスタープランに合わせる

※地域区分なし

次期みどりの基本計画の地域区分案

市民や行政にとっての使いやすさを鑑み、各中学校を核とした地域づくりの考え方を取り入れている。
(中学校区・9 区分)



国土数値情報 (R3)

改定中の総合計画の考え方を
基に区分する
(中学校区・9 区分)



国土数値情報 (R3)

流域で分ける (参考)



DamMaps: 川と流域地図より